

令和 8 年度

東京医療保健大学大学院 和歌山看護学研究科

入学試験

[小論文]

I. 次の下記の文章は、2023 年に ICN が所信表明した「デジタルヘルストランスフォーメーションと看護実践」からの抜粋の一部である。これを読んで次にある問 1、問 2 について答えなさい。

デジタルテクノロジー革命は、保健医療システムに急速かつ前向きな変化をもたらし、看護ケアの提供と人々のその健康とウェルネスに対する関わりを促進している。デジタルヘルステクノロジーの活用は現代の看護実践の一部である。デジタルテクノロジーは、保健医療サービスへの公平かつユニバーサルなアクセスの支援、保健医療システムの効率性と信頼性の向上、患者と保健医療労働者の安全性の強化、保健医療労働力不足への対応、コストの削減をもたらし、結果として人々の健康アウトカムの改善につながる可能性がある。デジタルヘルスは、患者の保健医療情報のプライバシーとセキュリティを尊重し人々を中心とするシステムにおいて、ヘルスプロモーション、疾病予防、診断、マネジメント、リハビリテーション及び緩和ケアを強化し、規模を拡大することができる。①世界保健機関 (WHO) は、デジタルヘルスは適切な使用により、健康アウトカムを劇的に変化させることができ、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ\*を達成するために不可欠であると確信している<sup>1</sup>。

こうした恩恵を受けるためには、②保健医療分野のデジタルトランスフォーメーション\*\*において、技術的進歩だけでなく、保健医療労働力とその姿勢、スキル及び文化を適応させることが求められる<sup>2</sup>。個人、家族、コミュニティ及び保健医療労働力のニーズを満たす形でデジタルヘルステクノロジーの開発及び応用がなされるよう、看護職は、この変化に貢献し後れを取らないようにしなければならず、また、デジタル社会において臨床実践、教育、研究及び政策をどのように実行していくかを常に見直していく必要がある。直接ケアのコーディネーター及び提供者であり、保健医療システムのまとめ役であり、情報労働者及び知識仲介者である看護師は、デジタルヘルステクノロジーについて、理解、評価、関与し、コンピテンスを高める必要がある<sup>3</sup>。

注釈：

- \* ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ (UHC) とは、「全ての人々が基礎的な保健医療サービスを、必要なときに、負担可能な費用で享受できる状態」を指す。
- \*\* デジタルトランスフォーメーションとは、「デジタル技術によって、ビジネスや社会、生活の形・スタイルを変える (Transform する) ことである。」(情報処理推進機構 DX スクエアより)

問 1 下線①世界保健機関 (WHO) は、デジタルヘルスは適切な使用により、健康アウトカムを劇的に変化させることができ、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジを達成するために不可欠であると確信している<sup>1</sup>。について、看護職として、どんな看護実践をおこなうのか、

あなたの考えを具体的に論じなさい。

問2 下線②保健医療分野のデジタルトランスフォーメーションにおいて、技術的進歩だけでなく、保健医療労働力とその姿勢、スキル及び文化を適応させることが求められる<sup>2</sup>。  
のなかの「文化」について説明しなさい。

2. 次の下記の文章は 2018 年 ICN が所信声明した「移民・難民・避難民の健康」についての抜粋である。これを読んで問3について答えなさい。

移民・難民及び避難民（MRDPs）は世界で最も弱い立場にある人々であり、多くの健康や保健医療に関連した課題に直面する。人々が移動する理由は、紛争、貧困、災害、都市化、権利の欠如、差別、不平等、グローバル化、及び働きがいのある人間らしい仕事へのアクセスの欠如等、さまざまである。世界で 2 億 4,400 万人以上といわれる移民の多くは自主的に、問題を伴わずに移動した人々である。しかし、一方で、迫害のリスク、紛争、食料不安、人権侵害によって、強制的に移動を余儀なくされた 6,500 万人以上の人がいる<sup>1</sup>。

中略

保健医療へのアクセスにおける多数の障壁が特定されており、それらには、法律、保健医療制度の資源の制約、差別、官僚制、本国送還の不安、意思疎通の困難、経済的資源の欠如、羞恥／偏見、及び保健医療制度を使いこなす難しさなどがある<sup>6</sup>。③看護師は、政策、保健医療制度及びケア現場のレベルにおいて、これらの障害を MRDPs が乗り越える手助けをする重要な役割を果たしている。看護師主導のケアモデルは、保健医療が行き届きにくい人々の保健医療サービスへのアクセスを向上させ、MRDPs の幅広い健康と社会的ニーズに対応できるホリスティック・アプローチを提供している。しかしながら、移民・難民・避難民のケアは複雑であり、質が高く、文化的に妥当なケアを提供するためには、教育や継続的な研修を通じ、十分な資源を充てて、看護師を支援しなければならない。文化的に妥当なケアは、人種、民族、年齢、ジェンダー、性的指向、障害、社会的地位、宗教的・精神的信条及び国籍における多様性を尊重し、差別を受けるリスクのある人々を認識し、保健医療サービスの不一致につながりうる保健医療ニーズの差異を支える<sup>7,8</sup>。

問3 下線③看護師は、政策、保健医療制度及びケア現場のレベルにおいて、これらの障害を MRDPs が乗り越える手助けをする重要な役割を果たしている。とあるが、どんな手助けができると考えられるか詳細に答えなさい。